

# 障害児の介助活動で学んだ大事なこと 障害はいろいろある「個性」のひとつ

**介** 護や福祉の仕事に関心があり、特別支援学校に通う障害児の放課後活動を介助するアルバイトをしている。家に籠りがちになる障害児の放課後を、豊かで充実したもの

にしようと、障害を持つ子供の親たちが立ち上げたグループの活動所には、特別支援学校に通う小学生から高校生までの子供たちが、放課後、集まってくる。

僕たち介助員は、手遊びや体操や公園での外遊びなどのサポートをする。8月になると特別支援学校も夏休みに入るため、グループでの活動も朝から夕方まで行われる。僕も活動に参加し、子供たちと1日を過ごした。スーパーでのお買い物や昼食作りなど、普段とは違った活動に、子供たちの目もきらきら輝く。

なかでも、子供たちに一番人気

があるのはプールの時間だ。昼食後、近くの福祉施設にある身障者専用プールへ出かける。上手に泳ぐ子、浮輪でふかふか浮かんでいる子、手のひらで水面をばしやばしや叩く子。楽しみ方は様々だが、どの子も心から喜んでいて。

みんなで博物館へ行ったり、特別支援学校が主催する夏祭りに参加して屋台を出したりもした。グループでの夏休み活動は、僕にとっても貴重な体験となった。

言葉でのコミュニケーションが難



しく、アンバランスな知的機能を持つ子供たち。最初は、どのように接すればよいのか分からず、戸惑うばかりであった。しかし、その無邪気で明るい笑顔に触れるうちに、彼らの距離も次第に縮まっていった。

グループでの活動を通して感じたことがある。それは、障害を持つ子供たちと健常者との間には、何の隔たりも存在しない、ということだ。

健常児にも、体の大きい子・小さい子、騒がしい子・静かな子、運動が得意な子・苦手な子、いろいろな子供がいて、いろいろな個性がある。

「障害」と呼ばれているものも、それら個性のうちの一つにすぎないのではないだろうか。あるのは「障害」ではなく、子供たち一人一人の「個性」である。活動所の子供たちを見ていると、綺麗事などでなく、心の底から、そう思えてくるのだ。

子供たちに接していると、優しく穏やかな気持ちになる。障害児のお世話をしようと始めたこのアルバイト。逆に今、僕は彼らから、かけえのない多くのことを学んでいる。

(H)

## 一人旅をして自分に素直になった 観光との違いは、さてどうしよう

「人旅でもするか...」。留学をする友達を尻目に、この夏休み、私はバックパッカーをしていた。東南アジアを1ヶ月間。

観光と旅の違いとは何か？観光は現地に着いたら、「まずあそこに行

こう」となるが、旅は「さてどうしよう？」である。

東南アジアの旅で、さてどうしよう？と思っていたある日、タイ人に道を尋ねたら、答えを理解するのに、ものすごく時間が掛かった。日本

語では「銀行が見えたらそこを右に曲がれ」ですむのにと考えた。

原因は、どうやら言葉が少な過ぎる曖昧なタイ語にあった。

またある日、タイ人の家族と食事に行った折のこと。「まだ昼だしビールは止めとくか」とそう思った時、おぼさんに「まだ牛乳でも飲んでるの?」と言われた。おいおい。タイ人はみんなこんな調子だそうだし、微笑の国なんて言っていられませんが、最近、何かと話題のエコ。鉄道に乗った時、吊革にエコを訴える広告があった。「タイも進んでるんだなあ」と感じたのは、実は、思い過ぎだった。

タイにはエコを特集した番組はないので、国民はエコの広告の意味を理解していないようだ。街中では、ポイ捨てが目立つ。罰則をつくって取り締まるしか環境を守る方法がない理由も分かる。

旅をして、人種も言葉も違う異国の地に、全てをかなぐり捨てて飛び込んでみて、初めてわかることって結構多い。その国のことも、日本のことも、自分のことも。私は、以前より自分に対して素直になっただけじゃないかな、と思う。もし観光に飽きたら、旅をすることをお勧めしたい。

(M)



# 学生記者になりませんか

学生記者が取材・編集する大学広報誌

**Hakumon**  
Chuo  
ちゅうおう

2009  
夏季号  
no.212

- シリーズ — 「創立125周年に向けて」 ● ● ● 中央大学の「ルーツ」 ●  
法学部総合講座「中央大学と近代の日本」担当3教授に聞く
- 新連載 — 企業トップ(南甲倶楽部会員)インタビュー  
凸版印刷(株) 足立直樹社長
- 特別 — 「期待のルーキー」 硬式野球部、水泳部、陸上競技部駅伝



「Hakumonちゅうおう」は中大生が取材・編集する大学広報誌です。

現在、多摩と後楽園キャンパスそれぞれで1年生の学生記者を募集しています。

- 元新聞社論説委員のプロや先輩の学生記者に取材方法・原稿の書き方はじめ添削指導を基礎から受けることができます。将来どんなキャリアをめざすにも文章力が重要です!
- 取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。
- 記者活動を通してコミュニケーション能力など「社会人基礎力」を身につけることができます。

申し込み・問い合わせは

中央大学広報室『Hakumonちゅうおう』  
編集担当: 伊藤博まで  
Phone: 042-674-2048 (直通)  
E-mail: hiroito@tamajs.chuo-u.ac.jp